

ポッチャ



ポッチャとは、白い目標球(ジャックボール)に赤・青のボールを投げ合い、いかに近づけるかを競う、パラリンピックの正式種目です。元となったポッチー(英語版)はヨーロッパが発祥とされ、ペタンクやローン・ボウリングから発展したとされています。

※入所後の打合せは行いませんが、プログラム確認表の事前提出をお願いします。

活動のねらい・期待される効果

- グループの協調性・協力を高めることができます。
- 年齢、性別、体力に関係なく、誰もが楽しく参加できるスポーツです。

一斉実施可能人数	48人程度	活動季節・条件	通年
所要時間	1～2時間 程度	実施場所	講堂、柔道場、体育館など
主な対象	小学生～		
指導について	要望があるときは、実施前に交流の家職員が用具の使い方・実施上の諸注意・ルール等について、実演を交えた事前説明をします(約10分程度)。 その後は、団体による自主運営で実施してください。		

活動の概略

○事前に以下の内容を決めて、前日までに「確認表」を提出します。

- ◆チーム編成(1班の人数)
- ◆貸出希望物品
交流の家には、ポッチャセットは4つ有ります。(ただし、ポッチャコートは3枚です。)

①道具を準備

ポッチャ用具一式を事務室まで受取りに来てください(運ぶのに1セット当たり1人～2人程度必要です)。

<用具の名称>

- ジャックボール・・・白色のボールです。赤と青のボールは、ジャックボールに近づけるように投げます。
- ランプ・・・投球できない選手が使用する専用の用具です。ボールを転がして投球できます。
- パドル・・・審判用具の1つで、赤、青の投球を指示及び得点を伝えるときに使用する指示版です。(卓球のラケットのような形状です)
- キャリパー・・・審判用具の1つで、赤、青のボールの距離を比較する際に使用します。

②指定の場所で活動

活動できる場所は以下のとおりです。
講堂、柔道場、剣道場、体育館

(詳しいルールは、「ポッチャ 確認表」の裏面をご覧ください。)

③片付け

使用した用具を事務室まで返却してください。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

- ポッチャ用具一式 4セット
※1セットの内訳:ボール13個(白1、赤6、青6)、審判用具(パドル1、キャリパー1、メジャー1)
- ランプ 2セット
- ポッチャコート 3セット
- ホワイトボード(得点板用)
- 電子ホイッスル

当日の動き

- ①貸出物品の運搬、会場準備、体操
事務室で貸出物品を受け取って会場に移動し、コートづくりをします。
事前の準備運動を行ってください。
- ②ねらいの確認と事前指導
活動のねらいを確認し、用具の使い方やルール、実施上の諸注意等について事前指導をします。
※要望があるときは、交流の家職員が事前指導を行います。
- ③活動(展開)
1コート2チームで対戦します。
※1チームは、1人～6人程度が望ましいです。
- ④振り返り
対戦終了後、チームでの振り返りを行うことにより、チーム内での自分自身と仲間への理解の深まりが期待できます。
- ⑤片づけ、物品の返却
会場の片づけを行い、貸出し物品を事務室に返却してください。

安全対策・環境への留意点

○ボースがガラスや蛍光灯に当たって割れたガラスで怪我をすることがないように、十分注意して活動してください。